

「課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業」
実社会対応プログラム最終評価結果表

課題(研究領域)	非常時における適切な対応を可能とする社会システムの在り方
研究テーマ名	非常時における適切な対応を可能とする社会システムの在り方に関する社会科学研究
研究代表者	齊藤 誠
所属機関・部局・職	一橋大学・大学院経済学研究科・教授
研究成果の総合評点：	A
研究成果に係る所見	<p>経済学者と法学者の共同研究により非常時における対応を可能とする社会システムの在り方を研究しており、定量的検証を含めて、事業の目的に照らして十分な成果があったと評価できる。</p> <p>非常時の範囲を広く採ったことで、性格の異なる非常時への対応の共通性や相違点が明確になったものと評価できる。</p> <p>今後、研究成果の積極的な公表・普及と国民目線の分かりやすい情報発信、そして、経済学や法学の視点を越えた、被災者の立場に立った総合的視点での研究への発展が期待される。</p>

※ 「研究成果の総合評点」に対する標語は下記の通り。

- S. 事業の目的に照らして、期待以上の成果があった
- A. 事業の目的に照らして、十分な成果があった
- B. 事業の目的に照らして、相応の成果があったとは言い難い
- C. 成果がなかった